

令和6年第3回川本町議会定例会会議録

(第2日目) 令和6年 9月11日 午前9時30分開議

議長

おはようございます。
これより、本日の会議を開きます。

々

ただいまの出席議員数は9名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

々

本日の議事日程は、お配りしているとおりです。

々

日程第1「一般質問」を行います。
質問順序を申し上げます。
通告順に、6番木村議員、5番高良議員、7番石川議員、3番中平議員、8番飯田議員、4番本山議員であります。

々

それでは、通告順に従い、順次質問を許します。

々

はじめに、木村議員の一般質問を行います。6番木村議員。

6番
木村議員

おはようございます。毎日暑い夏が続いておりますが、皆様お元気でしょうか。そして、毎日のようにクマが出没し、この近辺にも、皆さんにも大変ご心配をかけておるところでございますが、町民の皆さんの被害のないことを祈っております。

それでは、通告書に基づき、「町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについて」お尋ねします。

はじめに、令和6年第2回定例会、町長行政報告で、国民健康保険事業について、国保連の速報値によりますと、昨年度の本町の一人当たりの医療費は583,974円。前年度比で40,430円、6.47%の減少となりました。減少の要因は、高額医療費の減、生活の重症化予防により、入院外医療費が減少したことによるものであると考えられます。しかしながら、依然として県内4番目に高いことから、早期発見、早期治療、治療により削減が図られるよう、引き続き特定健診、がん検診等の受診率向上に取り組んでまいりますと、ありました。私はまさにそのとおりだと思います。そこで、さらなる健康の保持施策について、様々な切り口でお尋ねします。健康増進法第8条の規定に基づいて策定する川本町の健康増進の推進に関する施策について、次の項目についてお尋ねします。

一つ、川本町国民健康保険データヘルス計画、保健事業実施計画及び川本町特定健康診査等実施計画の成果、課題及び今後の具体的な取り組みについ

6 番
木村議員

てお尋ねするものであります。参考に、川本町データヘルス計画について概略をご説明します。データヘルス計画とは、令和6年4月1日に、レセプト医療情報ですけど、健診結果などのデータ分析に基づいて、P D C Aサイクルで効率的かつ効果的かつ効率的に保健業務へ取り組むという事業計画策定のことです。被保険者、保険加入者の健診結果の数値や、医療、介護などのデータ分析に基づいて、効果的かつ効率的な保健事業を実施する取り組みのことです。また、川本町特定健康診査等実施計画は、保健事業の中核となす特定健康診査及び特定保健指導の具体的な方法を定めるものであることから、第4期特定健康診査等実施計画を、データヘルス計画と一体的に策定されました。

次に、町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みの具体策についてお尋ねします。

次に、医療費適正化の取り組みについて。昨年度、医療費が依然として県内4番目の分析と対策について。一つ、人生会議、A C P（アドバンス・ケア・プランニング）とエンディングノートの取り組みについてお尋ねします。

次に、健康長寿しまね推進計画スローガン、目指せ生涯現役、みんなで延ばそう健康寿命。目指せ健康長寿のまちづくりの取り組みのポイント。プラスワンの取り組みについて問うものであります。

以上、川本町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについて、答弁をお願いいたします。

議 長

それでは、木村議員の質問「町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについて問う」に対する答弁を求めます。番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長

木村議員ご質問の、「町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについて問う」の、健康増進法第8条の規定に基づいて策定する、川本町の健康増進の推進に関する施策、医療・介護・福祉サービスの強化策についてお答えいたします。

最初に、ご質問の1項目め、「川本町国民健康保険データヘルス計画及び川本町特定健康診査等実施計画の成果、課題及び今後の取り組みに問う」についてお答えします。データヘルス計画とは、先ほど議員もおっしゃったように、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針を示すもので、被保険者の健康保持増進のため、レセプトや健診情報などのデータを分析、活用し、P D C Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画です。また、特定健康診査等実施計画は高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、主に40歳から74歳までの被保険者を対象とし、特定健康診査及び特定保健指導の適正化且つ有効な実施を図るための基本的な指針を示す計画です。昨年度末に両計画の期間が満了したことから、本年4月に令和11年度までの6年間の計画とする、第3期データヘルス計画と第4期特定健康診査等実施計画を一体的に作成しました。これまでの両計画に

番外高砂健康福祉課長

基づく取り組みの成果や課題、そして今後の取組としましては、生活習慣病の予防や改善を目的とした早期検診である特定健診の受診率は、コロナ禍で減少し、以前の状況に回復しておりません。一方で、特定健診の結果により行う特定保健指導の実施率は、年度によりばらつきがありますが、昨年度は保健指導を好まれない方が増えたため、健診結果の理解を深め、行動変容につながるよう働きかけを行うことで、特定保健指導の実施率の向上を図ってまいります。また、今年度から、これまでの糖尿秒や高血圧のハイリスク者に対する個別フォローに加え、肥満度等を判断する指標でBMIが30以上の肥満者に対して個別生活指導を行うなど、重症化予防事業の充実を図っております。なお、健診結果から分かる生活習慣において、口腔機能の低下している方が多いことから、歯周病検診助成制度を拡充し、新たに20歳から70歳まで5歳刻みで対象とすることとしました。自己判断による治療中断や、未治療による重症化することのないよう、引き続き医療機関と連携した体制づくりを図るとともに、ハイリスク者に対しては、個別フォローの強化によって、治療中断を防ぐとともに、生活習慣の改善を目指して事業を行ってまいります。

次に、ご質問の2項目め「医療費適正化の取り組みについて、昨年度、医療費が依然として県内4番目の分析と対策について問う」についてお答えします。ご指摘のとおり、本町の一人当たりの医療費は、県全体で見れば高い位置にあります。平成20年度から14年間、県内1位でありましたが、令和4年度は2位、令和5年度は4位と、二年連続下がったところです。特に令和5年度は、高額療養費が少なかったことが影響しており、このことは、健診などによる早期発見、早期受診等により重症化が予防できたとも考えられ、これまでの長年の取り組みの成果と言えます。今年度の重点事業としましては、繰り返しになりますが、一つ目として、特定健診の受診率向上、生活習慣病及び生活習慣病予防の推進として、特定健診の受診率、保健指導実施率の向上を目指して、積極的な受診勧奨、また訪問や電話などの保健指導に取り組むこと。二つ目として、重症化予防対策として、自己判断による治療中断や、未治療による重症化することがないように、医療機関と連携した体制構築を図ること。三つ目として、ハイリスク、ハイリスク者の個別フォローの強化により、治療中断を防ぐとともに、生活習慣の改善を図ることなどです。一人当たりの医療費については、本町は被保険者が少ない分、個別ケースでの医療費の変動が全体数値に影響を及ぼしやすい面もありますので、数値の動向も見ながら、引き続き低下に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、ご質問の3項目め「人生会議・エンディングノートの取り組みについて問う」についてお答えします。人生会議とは、自らが今後の人生について、どう生きたいか、望む治療やケアについて、家族や周囲の信頼できる人たち、医療、福祉等の関係者と前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みです。4年度に実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による

番外高砂健康福祉課長

と、終末期の医療の受け方について、「自ら考え家族で話し合ったことがある」と答えた方の割合は14.5%。「考えたことはあるが、まだ何もしていない」と答えた方の割合は36%。「そのような場面になったら考えたい」と答えた方の割合は21.3%でした。このような状況から、昨年度は老人クラブ連合会を対象に研修会を実施し、人生会議の必要性について啓発を行い、また月1回開催しております地域ケア会議でも、町内の医療・福祉の関係者の方と、本町版のエンディングノートの作成に取り組みました。今年度は、悠湯プラザでの介護予防事業や、地域でのサロンなどで、人生会議やエンディングノートの啓発を行うとともに、町内の医療機関、介護保険サービス事業所などでも、エンディングノートの配布を行っています。住みなれた地域でいつまでも暮らし、自分らしく暮らし続けるために、周囲の人、そして未来の自分ともつながるきっかけにすることが、このノートの目的です。今後も、関係機関と連携を図りながら、医療、介護を選択していく上で重要となる人生会議、エンディングノートの啓発に取り組んでまいります。

次に、ご質問の4項目め「健康長寿しまね推進計画スローガン「目指せ！生涯現役、みんなで延ばそう健康寿命」「目指せ！健康長寿のまちづくり」の取り組みポイント「+1（プラスワン）」の川本町としての取り組みについて問う」にお答えします。

県では、令和2年度から「しまね健康長寿延伸プロジェクト」によって、「全世代の減塩」「子育て世帯・壮年期の野菜摂取」「壮年期の運動」を重点に、健康づくりの取り組みを強化しています。また、9月を「健康づくりチャレンジ月間」と定め、今より一つでも多くの健康づくりに取り組む「+1（プラスワン）活動」を呼びかけています。町としても、こうした県の取り組みに協力し、町民への呼びかけを行うとともに、家族ぐるみで健康づくりに取り組んでいくいただくために、9月28日から10月2日、生活習慣の改善による学習意欲や体力向上を目的に小学校で実施されます、「にこにこ元気チャレンジ週間」に合わせて、働き盛り世代の保護者の方にも、朝食、野菜摂取、噛むこと、睡眠を意識していただく「にこにこ健康チャレンジ週間」を実施する予定です。このほか、町内で開催する各種運動教室などをまとめたリーフレットを全戸配布し、普段から健康づくりを心掛けていただくよう呼びかけを行っております。なお、子どもから高齢者までの生涯を通じた心と体の健康づくりを推進する「第2期川本町健康長寿すこやかプラン(健康増進計画：平成27年度～令和6年度)」は、今年度が最終年度であり、これまでの総括を行った上で、来年度に向けて、第3期計画を策定する予定としております。引き続き、住民の主体的な健康づくりや介護予防や生きがいづくりを推進し、町民、関係機関、行政などの地域のネットワークによって地域力を高めていく取り組みを進めてまいります。

議 長

6 番木村議員。

6 番
木村議員 課長きめ細かい答弁、感謝します。はじめに通告書における質問の要旨としております、町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについてお尋ねします。第6次川本町総合計画の基本計画、③健康づくりにおいて、健康寿命を延ばす健康づくりの推進、生活の障害となる病気を予防し、いつまでも元気で暮らすことのできるような支援を進めていきますとあります。町民の健康寿命を延ばし障害圏域を目指す取り組みについてお尋ねします。総論として、総合計画の基本計画にある健康寿命を延ばす健康づくりの推移で、令和5年度総括と冒頭答弁にありました、今年度の重点事業の説明と、総合計画施策シートに基づく所感を求めます。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 総合計画の評価シート等、そこで実質取組をいろいろと述べております。先ほどもちょっと述べましたが、1つ目が、特定健診の受診率の向上、生活習慣病や生活習慣予防の推進として、特定健診の受診率、保健指導実施率の向上を図ること。2つ目として、重症化予防対策として、自己判断による治療中断や未治療による重症化することのないよう、医療機関と連携した体制を図ること。また3番目に、ハイリスク者の個別フォローの強化による、治療中断を防ぐとともに、生活集団を図ることを目的とした、そういったことを、今後取り組んでいこうと考えております。以上です。

議 長 6番木村議員。

6 番
木村議員 それでは今答弁していただいたことを項目について、個別に質問していきたいと思います。それでは言われました特定健診についてお尋ねします。先ほどありましたように、これまでのデータヘルス計画、特定健康診査等実施計画の中での特定健診は高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて、生活習慣病予防に着目して、医療費適正化につながる目的から、医療保険者に実務実施義務が課されるとあります。特定健診・特定保健指導率の目標は、第4期医療費適正化基本方針、令和5年度厚生省労働省告示第234号に、それぞれ70%、45%とされています。本町の目標設定の考え方についてお尋ねするところですが、令和3年度から60%を設定されています。これにですね国のそういう目標についての乖離の関係についてお尋ねします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 先ほど言われました国のほう、政府におきましては、それぞれ、特定健診が70%、特定保健指導は45%ということで出されております。本町におきましては、先ほど言われました、令和5年度につきましては目標60%、

番外高砂健康福祉課長 特定保健指導を73%としております。それに対して実績が、特定受診につきましては実質50%、保健指導については26.1%ということになっております。この目標の設定につきましては、これまでの受診の実績に、国の基準はあるんですが、これまでの町の実績に基づいて、それにそういうような層というか、そこで実際達成できるような形での目標設定にはしておるところでございます。以上です。

議長 6番木村議員。

6番木村議員 60%というのはね、県も60%ですので、県に準じてだなと思います。やはり身丈に合った分でやはり高いレベルではなかなか難しいし、手の届くのがよろしいかなと、まずはよろしいかなというふうに思います。よろしくお願ひいたします。それではね、関連して先ほども答弁いただきました、特定保健指導についてお尋ねします。特定健診の結果で、特定保健指導の実施率は先ほどありましたけど、年度によってばらつきがありますねと、さっきお話しいただきました。昨年度は、保健指導を好まれない方が増えたため、健診結果の理解を深め行動変容、行動変容につながるよう働きかけを行うことで、特定保健指導の実施率の向上を図るとありました。私は、特に今の先ほど課長が答弁いただいた中で、保健指導を好まれない方との行動変容につながる働きかけ、この行動変容についての意味、内容等の関係について、お答え願ひます。

議長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 昨年度は、やはり個別に連絡等させていただいた時に、やはりそこまで最初は取り組みをされるんですが、どうしてもやっぱり長く続かないといったこととか、そういったことがあったようでございます。やはり、このことにつきましては、本人の意識づけがやっぱりいちばん大きい点ではないかと考えております。それとその気持ちが変わるにはどうしてもやっぱり時間がかかりますので、そういったところを細かく、あまり指導というか連絡とり過ぎると今度はそれで拒否される場合もございます。そこら辺は丁寧な説明をしながら、指導というか接していくような取り組みをしていきたいと考えております。何にしてもやはり意識を変えるってところの啓発、そこらあたりが重要ではないかなと考えております。以上です。

議長 6番木村議員。

6番木村議員 はい、様々なですね方がいらっしゃると思いますし、いちばん心配したのはですね、間をおいたら重症化に結びつくという、放置されたらされる、そういうコンタクトがなかった場合ですね、やはりそのほうの医療費等の関係

6番
木村議員 についても、今度は大きく変えてくるというふうに考えます。難しいこととは思ってます。いろいろと人のことでございますが、人の心をとらえて、そのように向けていくことはやはり、変化を無関心層から変化を促すということは大変だと思いますので、今後とも努力をお願いしたいと思います。特定保健指導の実施状況についてですね、今少しお話いただきましたけど、そのことについて動議付けの対象者とか重症化になった人の対応等はずいぶん、どのようにされてるのかをお尋ねします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 これはちょっとデータヘルス計画からちょっと引用しておりますが、令和4年から5年度の参加者は7人でした。そのうちハイリスク者は1割で、健康づくりのため自ら積極的に参加を希望された方が多いような状況でした。食事や運動、生活習慣改善のサポートができるよい機会となっております、教室に参加された方の改善率は、令和4年度66.7%でした。こういったことから実際、参加されて積極的に取り組まれた方についてはやっぱ成果が出ております。やはりその参加をいかに促すかというところがすごく重要ではないかなと考えております。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番
木村議員 はい、それですね、特定保健指導の関係について、今、健康福祉課だけでやってらっしゃいますか。他の事業所等の関係についてですね、そういうケアマネさんとか含めてですねされとるのか、そういう状況についてお知らせください。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 保健指導につきましてはうちのほうで、町でやっている状況です。ただ病気の糖尿病であったり、そういったその病気にかかる部分については、やはり病院のほうでいろいろと健康指導等をされていると思っております。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番
木村議員 次にですね、特定健診で検診率向上策としてですね、特定健診を受けられない方の受診勧奨策について、お尋ねします。先ほど答弁によるとですね、令和5年度はコロナ禍で減少して以前の状況には戻ってらん。目標達成は出来なかった、前年度2%減少とありましたけど、要因分析をされたかどうかについてお尋ねします。

議 長	番外高砂健康福祉課長。
番外高砂健康福祉課長	<p>ちょっと要因分析ということまでにはいかないんですが、恐らくコロナ禍により、そういう受診控えみたいなのが、病院でも増えております。やっぱりそういったところでの、受診をちょっと敬遠されたというところではないかなと思っております。ですので最近はやや上向いてはおりますが、コロナ前の状況までは至っていないというのが今の状況だと考えております。</p>
議 長	6 番木村議員。
6 番 木村議員	<p>はい、私もこれは今回こういう質問する関係です、近所の商店街の皆さんとか、老人会の集まりです、聞いてみました。それとですね、やはり50歳以下の働き盛りの関係については、仕事やら家のことが忙しいよと、50歳以上では病院通ってるから大丈夫だよとか。そういう中ですね、病院へ行ってるっていう方に聞いたんですよ。どういう病気で行ってらっしゃるんですかって言ったらですね、糖尿病とか脂質異常とかですね生活習慣病などはそれはそれでいいでしょう、思いましたけど、腰が痛いや膝が痛いやというふうなことはですね、必ずしも生活習慣病とは言えないなと思っております。人間ドックみたいなね、受けとるようでしたら検査必要ないかもわかりませんが、そういう受けられなかった人のフォロー等の関係について、どのように対応されとるかお尋ねします。</p>
議 長	番外高砂健康福祉課長。
番外高砂健康福祉課長	<p>先ほどの受診率の向上、その受診率の中には、その受診を断られる理由の中に、今病院を受診しているから、特定健診を受けなくてもいいという方もおられます。そういった方につきましては、実際は本来の特定健診として見るためのいろんな数値があります。そのものがない場合もございます。ですので、そういった方につきましては、協力いただける方については資料を出していただいて、不足してる部分にはそういった検査もあわせて受けてもらうようなこととか、病院のほうでやっぱそういった、恐らく病院で検査をされているので、そこら辺、検査内容とかこういったものが該当する該当しないというのは、ドクターがよく分かれていると思っておりますので、そういった病院からの指導などもしてもらうようにしておるところでございます。あわせて受診率の向上の対策として、ちょっと言わせていただきますと、今特定健診を初めて受けられる方につきましては、特定健診の費用を無料としております。また特定健診のセット検診、これは胃がん検診とか胸部CTとか、そういった各種オプションと一緒にできるような取り組みをしています。それと先ほど言われました、なかなか出にくいというところでは、平日出にくいというところでは、ここ数年来、土日での検診もやっているところでは、</p>

番外高砂健康福祉課長 あと、特定健診じゃないんで、がん検診のほうにはなりますが、そういった子宮がんやがん検診の無料化、これは対象年齢があるんですがそういったことの取り組み。あと個別の受診勧奨も回数を増やして実施、年3回、一応実施しているところでございます。それと、去年から、健診の受診者に対してまげなポイントの付与というような取り組みもしておりますし、あとやはりその集団でやるよりも、やっぱりドック、個別にドックへ行かれるっていう、そういうことを希望される方が、ちょっと増えてきてるようにも感じております。そういった部分で、ドック費用の助成なども、かなり利用もありますし、そういったところの取り組みをしている状況でございます。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番 木村議員 私もじゃあどうしていくのって聞いたんですよ。そうしたら自己負担、先ほどね無料化の話もありますが、料金をただならええなあとかいうかですね。土曜日曜もいいんだけど、夜間ですね、やってくれんかなあっていうのがありました。そういうところと、それから健診を受ける期間、いろいろと仕事が忙しいんで、もっと自分の空いた時間を探すために、期間をちょっと延ばしてくれないか、むしのいい話かもわかりませんが、ああいうことがありました。先ほど冒頭に課長から説明ありましたが、病院からのですね、そういう診療データを本町にもらうようなお話をなってるんですか。ですからそういうふうな管理の関係についてお話ししないと、いろいろと町民の健康管理は難しいかなと思うんですがいかがですか。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 個人のやっぱり個人情報になりますので、病院からうちが直接というわけではなく、受診された方が、うちのほうへ提供していただくというような形でやっているところです。検査結果につきましては、そういった形でやっております。

議 長 6番木村議員。

6番 木村議員 それはどういう方法でされてますか。例えば私の場合は、そういう役場からそういうお話を聞いたことはないんですけど、そう何かあったときに、私も糖尿ですので定期的に参りますけど、データもいつもその時に血液検査としてデータもらいます。だからもうそれは自分で持ってるんですけど、そういうような形で、これは例えば、本町でしたら加藤病院とか邑智病院との関係について病院から、これについて役場のほうに、よかったら提供するよというふうなアドバイスとか、そういうお話はされてますか。

議 長	番外高砂健康福祉課長。
番外高砂健康福祉課長	病院から直接うちへくださいということはやっていません。あくまでも本人、うちからご本人さんをお願いをして、そういった検査結果について提供していただいただくという形になってますので、ご本人さんのどういうんですか、意思でうちのほうへ提供していただくような状況です。以上です。
議 長	6番木村議員。
6番木村議員	ちょっとおきます。というのはなかなか、広報なんかしていただいてですね、データをしっかりして、町民の健康管理をしてもらいたいということで、それはお願いにおきます。それからJコインの関係ですけど、いろいろと状況の関係について、どれだけ申請されたかと、そういうふうなデータを教えていただきたいなと思ってます。よろしくお願いします。
議 長	番外高砂健康福祉課長。
番外高砂健康福祉課長	Jコインの実施状況ですが、令和5年度から先ほど言いましたが実施している状況です。昨年度、特定健診でJコインを申請した人は、177名中59名で、そのうち2年以上受診をしていなかった人の割合は、177人中35名。そのうちJコインを申請した人は、35名中6人ということでございました。ですので2年以上受診されていなかった方が、このJコインを利用して申請された。これまで関わってなかった方が受診されてなかった方が受診した人が35名中6名ということでございました。これを多いと見るか少ないと見るかはあれですが、取りあえず単年度だけでは、効果はちょっとあったかどうかという判断は難しいかなと思っております。6年度につきましては、金額を若干上げております。そういった取り組みをしておりますので、そういったことも含めて、今年度の結果をまた検討してまいりたいと考えております。以上です。
議 長	6番木村議員。
6番木村議員	はい、ちょっとショックではありますけど、やはり町独自の施策でありますので、もっと拡大策、浸透をよろしくお願ひしたいと思ひます。6名というのはかなり厳しいなというふうにお願ひしたいと思ひます。6年度はですね、金額はアップするというこゝで、今答弁いただきましたけど、現状からどのぐらひ上がるんでしょう。1回あたりどうでしよう。(「今回？」の声) 今回、6年度。
議 長	番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 500円から確か1,000円、1,000円に上げたと思いますがすみません、ちょっとはい。また、ごめんなさい、すいません。(「はい、結構です。分かりました。」の声あり) それと先ほど6人と言いましたが、実際のJコインの申請は59名おられますので、やっぱそれを利用して、先ほど言った6名っていうのはあくまでも長期受診というかされていなかった方ということですので、実際は59名申請されております。そこら辺はやっぱり継続して、検診を受けていただいているという効果にもつながっているのではないかなとは思っております。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番木村議員 はい、それじゃ特定健診ですね、知っていただきました。そうするとそれなりに疾病の発見とか合併症の予防、重症化についてお尋ねしたいんですけど。特にですね、先ほどもありましたけど俗に言うメタボの関係についてですね、関心を持ちます。このメタボの関係についてですね、ただ腹回りが大きいんでメタボではないというふうに思いますが、そのメタボの関係について予防と重症化の予防になることについて、ご説明いただきたいと思えます。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 メタボリックシンドロームの基準みたいな形でよろしいですかね(「うん、ですね」の声)。すいません、まずメタボリックシンドロームの診断基準ということになります。これは健康診断の結果で、まず肥満に当たるかどうか、ウエストが男性ですと85センチ以上、女性で90センチ以上。また脂質異常については、中性脂肪が150ミリグラム以上、コレステロールが40ミリグラム未満で、高血圧につきましては、最高血圧が130以上、最低血圧が85以上、あと高血糖につきましては空腹時の血糖が110ミリグラム以上ということになってます。先ほど言いました4つのうち2つに当てはまるものがメタボリックシンドロームの予備軍で、3つ以上になりますと、メタボリックということになっております。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番木村議員 あとBMIの数字ですね、本町は25.0以上ということで、他のところは県のほうは30だったかな、というふうになってます。お尋ねするんですけど、メタボリックシンドロームになると、どういうふうに体の病気いうか、重症化に結びつくかというPRっていうか、広報といいますか、ただメタボメタボでいけないよと言って、体重減しなさいよというようにしか受け取れないんですけど。健康福祉課としてですね、町民の皆さんにメタボになれば

6 番
木村議員 こういうふうな重症化に結びつくから気をつけなさい、野菜を食いなさいよという、そういう食習慣等の関係の改善についてされてますか。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 メタボというのは、結局やはりそういった生活習慣を乱れたことによって、そういったことがもとになって、血圧なり血糖値が上がることで他の病気を引き起こすもとになるもの、であると考えております。そういったことを未然に防ぐために、早い段階でそういった体の数値を確認し、受診なり改善を図っていくという取り組みが保健指導につながっていくんだと考えております。そういった部分につきましては、特定健診などの受診票などを送付する際にそういった文書も、ちょっと細かい文章までは覚えてないんですが、そういったことも踏まえて、周知は図っていると考えております。あと広報などでも、特定健診の時期とかにつきまして、実際やっております。そういったところにもあわせて、ちょっと議員が思われてるような内容じゃないかもしれませんが、生活習慣の大切さ、あとそういったメタボがそういった大きな病気につながっていくという部分のことは、伝えるような形にしていると思っております。以上です。

議 長 6 番木村議員。

6 番
木村議員 それで、重症化に、予備軍を含めてなった場合ですね、個別訪問をされるというふうに思うんですけど、これの対応の関係についてどのように、生活習慣予防教室、すこやか教室ですかね、そういうところを開催されているというふうに思いますが、それを補完する意味で、個別訪問もされとると思えますけど、その状況についてお尋ねします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 個別指導というか特定保健指導というのは、その健診を受けた結果をもとに、メタボ予備軍に該当する方について指導しているところです。それで、メタボに該当する方については積極的支援ということで、6 か月分ぐらいかけていろいろと指導する。メタボ予備軍については、約 3 か月ぐらいかけて、動機づけの取り組みをしているところです。そういったことで、これにつきましては、訪問もあるんですが電話での対応であったり、そういったところで対応する。一度訪問したら後は電話で対応するとか、そういった形での取り組みをしているところです。

議 長 6 番木村議員。

6番
木村議員 　　それですね、特定健診をやって、そういうふうな異常値が出ての対応なんですけど、保健指導の体制ですね、今、健康福祉課ですね、陣容（正：陣容）で間に合ってますか。

議 長 　　番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健
康福祉課長 　　現在、昔に比べてやっぱ保健師に対する役割というか、そういったものもちょっと増えてきている状況もありますし、いろんな分野で専門的な取り組みが必要な、専門職でないと出来ないということもあります。特に保健指導につきましては、保健師でないと難しい部分があります。今年度も一応、応募をかけたりにしている状況ですので、そういったところから、専門の職員を少しでも確保しながら、取り組んでいければなと思っているところでございます。以上です。

議 長 　　6番木村議員。

6番
木村議員 　　副町長にお尋ねしますが、私ですねこのたび様々に勉強させてもらいました。かなりな作業量、かなりの町民に対してのサポートでですね、今課長言いくそうでもございましたけど、私から見たらかなり人員が不足しとるんじゃないかなというふうに考えますけど、副町長から見た、内部的な職員の稼働等の関係について、所感がありましたらお願いいたします。

議 長 　　番外藤田副町長。

番外
藤田副町長 　　先ほど、高砂課長が説明したとおりでございますが、健康福祉課のほうには、複数保健師を配置をして、保健師等々対応しておりまして、課の業務の状況も課のほうには確認をして、十分なサービスが行き届いているかどうか、職員本人にですね、過度な負担がかかってないか、そういったところは、業務管理の面で、注視をしているところでございます。また来年度につきましても、保健師の公募を現在やっております、今の県内でも、また全国的にもそうかもしれませんが、専門職の人材確保というのは、非常に難しいところがございます、県内でも各市町、非常に苦勞されております。総務財政課のほうも、そういった人材採用の計画、また活動も積極的にやっておりますので、そういう体制をしっかりと務められるように進めてまいりたいと考えております。以上です。

議 長 　　6番木村議員。

6番
木村議員 　　はい、ぜひね副町長、オーバーワークにならないようにですね、言いにくいですけど、よく（夜は）灯がついてるなというふうに思ってます。遠くか

6 番
木村議員 　　らなので、ちょっと定かではございませんけど、帰宅する時に明かりが点いているなというふうに思ってます。ちょっとそこは気になりましたんで、よろしく願いいたします。

　　では次にですね、後期高齢者の健康診査についてお尋ねします。
ピンポイントでお願いしますけど、受診率向上とですね検査項目、課長、検査項目についてお尋ねします。検査項目の中に骨粗鬆症の検査項目はありますか。

議　長 　　番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 　　骨粗鬆症は、ちょっとすみません、無かったと思っております。はい。

議　長 　　6 番木村議員。

6 番
木村議員 　　結論から申しますと、入れてほしいなと思っております。皆さんも周囲の人、もう高齢の方をたくさん見られると思いますが、よく骨折されます。近所でもこの間、ごみを出す時にですね、出す時にちょっとつまずいてそのまま大腿骨を折って入院されました。そのようにですね、一旦、骨が折れたら病院に入る。次リハビリもなかなか大変でそのまま寝込んでしまうというような状況でもありますね。そういう骨粗鬆症の検査項目で、アラームを出すと、そういうことですね、医療費が大きく抑えられなくて健康寿命の延伸と生活の質の向上の重要な鍵になると思うんですよ。ぜひ、課長この骨粗鬆症の検査項目の追加を提案するんですが、いかがでございましょうか。

議　長 　　番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 　　すいませんちょっとこう、骨粗鬆症についてはちょっと私もちょっと知識が不足しております、うまく答えることがちょっと出来ませんが、ただうちで、それこそサロンとか、特定健診の結果報告会、そういった会場に今の骨粗鬆症の機械、はかるやつがあります。そういったものを持ち込んで、実際は検査をしたりしているところです。産業祭でも、去年はちょっと出来なかったんですけど、一昨年とかそういったことをやると、結構関心を持たれて、やっぱそういった検査をされる方はおられます。そういった場合は、実際その検査結果をもって、そういった機会はうちもできるだけ持とうと思っておりますが、実際に治療ということになると病院のほうで取り組んでいただくようになると思うので、そこら辺、うちでその機械自体も、国保連でお借りをしてやるようなことになっているところです。そういった機会をできるだけ増やして、皆さんに意識づけではないですが、やっていただけたらなという事は考えております。以上です。

議 長 6 番木村議員。

6 番 次にですね、医療費適正化の関係にお尋ねします。医療費適正計画は、長期入院や重複投薬、多剤投与などの適正化することですね、医療費を削減することを大きな目的とされています。そういう意味ですね、今医療費適正化の関係について、がんの問題とかですね、かなり高額が発生しとるんですけど、そういう状況について、この医療費適正化の減額の関係についてですね、所感がありましたらお願いします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

番外高砂健康福祉課長 医療適正化につきましては、やはり先ほども今年度、5年度ですね、下がった原因としましては、高額医療費が減ったというところがあります。やはり早く診断、また受診をして重症化を防ぐこと。あと日頃からそういったことにならないように保健指導等を行っていく。そういったことを地道にやっていくことが重要であると考えております。またジェネリックなど、そういった部分での取り組みもやっておりますし、重複受診とかあと薬の重複の関係もあるんですが、そういったところも国保連のほうから、そういった対象の方については通知を出しております。そういったところでの医療費削減についても取り組んでいるところでございます。以上です。

議 長 6 番木村議員。

6 番 はい、それではですね、人生会議のACP、アドバンス・ケア・プランニング、川本版エンディングノートの作成の関係あるんですけど。関連してですね、本町の平均自立期間ですね、平均自立とかですね、もう一つ健康寿命との関係について、どのように把握されとるかお尋ねします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

6 番 これもちょっとうちのデータヘルス計画のちょっと資料になるんですが、平均寿命につきましては、平成29年から令和3年までの5年間の平均で、男性が81.2歳、女性が86.7歳。県におきましては、男性が81.42歳、女性が87.87歳ということです。平均自立期間ですが、これも同じ期間で65歳の平均自立期間が（男性が）19.2、女性が21.45。75歳の平均自立期間が11.7、男性が11.7、女性が12.28ということになっております。以上です。

議 長 6 番木村議員。

番外高砂健康福祉課長 若干ですね県より本町が悪いというところもありますが、いろいろと介護予防事業をですね、皆さん参加して伸ばしていきたいなというふうに思います。それで、人生会議、川本版エンディングノート、この関係について冒頭ご説明いただきましたけど、この件について今後どのように拡販（正：拡散）され、どのようにやはり皆さんの人生の有意義というか、自分の人生をどういうふうに終わるかというような啓発等の関係についてお尋ねします。

議 長 番外高砂健康福祉課長。

6番 木村議員 最初のちょっと答弁でも申しました、やはり皆様の集まれるようなそういったサロンやら、そういう地域の交流の場を使いまして、エンディング、人生会議やエンディングノートの話をしたりしてまいりたいと考えております。本年も、やっぱりそういった会場に、たすけあい川本さんと、あとうちと一緒に訪問をしまして、このことについていろいろと、皆さんに啓発を図っているところでございます。以上です。

議 長 6番木村議員。

6番 木村議員 はい、それでは町長、最後にですね、本町のこういう健康で皆さんの良い人生を送っていただくということで、県もスローガンの関係はあるんですけど、先ほども時間が無いので飛ばしますけど、プラスワンの取組の関係含めてですね、本町の考え方、今後町民に対して健康管理について一言お願いします。

議 長 番外野坂町長。

番外 野坂町長 このたび議員お尋ねですね健康長寿、そっちに過ごしていただくための施策、縷々課長も説明しましたようですね、これはその大本の厚生労働省ですね、県もですね、健康福祉行政っていうのはその分野だけでもですね、よく我々、制度行政ということで、各計画が複数ありますね、制度がたくさんあると。

我々行政に携わる分野は職員がですね、この制度行政を持ってる職員はですね、どうしてもその先に健康長寿であってもらうためのですね、制度を運用すればという、そのみの視点に陥りがちでして。そうならないようにですね、自分の持っている制度だけではなくて、隣の人が持っているその制度、複数がかみ合って健康長寿が達成できると、こういう意識を常に持ちながら、さらに、いつも言いますが道路や橋と違ってですね、こういう取り組みはですね、関わっていただける町民の皆さんがより理解していただいて、参加意識を持って制度にですね、飛び込んでいただくと、こういうことが必要な類いの行政でありますので、そういう意味からは自分の持ってる制度だけに、

番外
野坂町長 ^{あいろ}隘路ですね、そこに陥らずに全体を見ながら、複数かみ合って川本の健康長
寿を実現するにはこういうアプローチが必要だという知恵と工夫ですね、広
報も含めて、そういう意識を持って職員がですね、皆さんと向き合っていた
だくということが、川本のですね健康長寿を達成することにつながるのだと、
このように感じておりますので、より一層ご指摘の点も踏まえてですね、そ
のようなですね、心持ちを持って取り組むように、しっかりやっていきたい
と考えております。

議 長 6 番木村議員。

6 番
木村議員 そういうことで、ぜひ皆さん、町民の方がですね、長寿を願ってよろしく
お願いいたします。終わります。

議 長 以上で、「町民の健康寿命を延ばし、生涯現役を目指す取り組みについて
問う」の質問を終了します。

々 これをもちまして、木村議員の一般質問を終了します。

々 (午前10時)40分まで休憩いたします。 (午前10時30分)